

◎特集1

# がんばる人の背中を押す 産業支援策

業種や業態、規模は違っても、事業者はそれぞれに技術や個性を発揮し、サービスに頭をひねって、こだわりを持った、あるいは生き残りをかけた営業展開を繰り返していただいています。

しかし、経済不況が深刻化する今、厳しい現実に向き合っている。立ち向かっているのか…、従業員の生活を守るには…、悩みや課題が尽きない毎日ではないでしょうか。

そこで今月は、市の産業支援プログラムを利用してがんばっている経営者の声をご紹介します。

「こんなことを相談できるの?」「どんな支援をしてくれるの?」と頭を抱える前にアクション!」  
まずは相談から始めてみませんか。







## 産業を元気にする対策を、岡谷の「GARDEN」を「早い、切れ目なし、見守り」実施します。



昨年から景気の悪化に、市では緊急経済対策を講じ「すぐにやる、切れ目なくやる、見えるようにやる」のかけ声のもと

- ◆ 現状把握のための「情報収集の強化」
- ◆ 現場に向き企業のニーズを積極的に把握する「相談機能の充実」
- ◆ 利子の補給や緊急借換にまで踏み込んだ「金融支援」
- ◆ 展示会への出展やホームページ充実を支援する「新規受注対策」
- ◆ 技術を高める研究開発を助成する「新技術・新製品の応援」
- ◆ 求人・求職両面から雇用を守る「人材への支援」
- ◆ 新たな産業の芽を育てる「創業支援」

を柱に、現在も全力で取り組んでおります。企業の体質強化や活気を生む環境整備に、有効な支援制度が多数準備できました。お気軽にご相談のうえ、ぜひお役立てください。

たくましい産業の創造には、種をまき、手当をし、育てていくための中長期的なスパンが必要です。産業振興担当の副市長として、これからはさらに市内企業の情報掘り起こし、企業誘致、また工業に限らず商業、農業、観光業を含めた岡谷の活性化、外に向けては魅力ある「岡谷ブランド」のPRを、先頭に立って進めてまいります。

また、民間感覚を取り入れ行政のパワーアップを推進。各課の連携を深め、横断型の施策とともに企画立案、議論を重ね情報を共有化して実行するスタイルを確立し「みんなが元気に輝くたくましいまち岡谷」の実現をめざしてまいります。

産業振興担当 副市長 **宮澤 昇**



# 岡谷市の工業振興支援レポート

## 小野製作所

**頼りになるのは情報とネットワーク。  
手厚いサポートでチャンスが広がりました。**

代表取締役 小野繁男さん

「景気は底を打ったともいわれていますが、まだ楽観はできない状況。ですから今は顧客を増やすべく、社内技術を応用し、取り扱う製品の幅を広げておきたいと考えています。そうしたなか、細やかなフォローと情報発信をしてくれる市は、とても頼りになる存在です。

市内外の展示会は、人とのつながりができたり、若い社員が他社の展示を見て刺激を受けたりできるともよい機会です。落ち込みの激しい時ですから、すぐかたちという商談にはなりにくいですが、間口を広げておくことができそうですし、スポットの発注も、社内の活性化や取引のきっかけになったりもします。工業展だからといって、たびたび出展するとなると、一企業にとっては負担が大きく、断念しなくてはいけないことも多々ありますが、岡谷市の場合、**展示会出展事業**によって、市が出展コマを確保し、共同出展の段取りをつけてくれるなどの支援があるので、ありがたいですね。工業立市として機能するだけあって、得意先となる会社も、市を通じての紹介だったり、タイミーな働きかけによって、充実したネットワークが築けてもいます。県



の支援や国の施策についても、相談が受けられますし、対応が早いので、こちらも早いタイミングで動くことができます。」

### 【展示会出展事業】

新規受注開拓事業のひとつ。展示会の直接経費や市内企業の共同出展などを支援します。

### Nテック

**創業から伸展へさまざまな支援を利用。ともに考えてくれる真剣な対応が励みに。**

代表取締役 竹村安弘さん

「創業した平成18年7月は、まさに当地に甚大な被害をもたらした豪雨災害のときでした。何をおいても災害復旧が優先、わたし自身も心からそれを願う1人でしたが、創業のタイミングとしては最悪で、電話番号、ファックス番号は決まり、案内状もできあがっていたものの、電話回線がつながるまでのしばらくの間は、実質的に休業に近い状態でのスタートとなっていました。」

そんななか、市へはさまざまな相談にうかがい、**創業者総合支援事業**による家賃補助、制度資金融資による開業資金のあっせんと、創業者の立場に立った心強い支援をいただきました。

小さくとも誇りを持って働くことのできる企業でありたいとの思いから、翌年には環境の国際規格であるISO14001の認証を取得しま



小野製作所 出展ブース





したが、この事業においても、実務的なアドバイスや補助金の助成が大きな支えになりました。また、この年には最大顧客の破たんという経験もしましたが、**関連倒産防止資金**の利用により経営の安定化を図ることができました。

創業以来、「熟練の加工技術で要望に応えること」と、「確かな品質を確かな期日に納めること」が、次の仕事につながる一番の道だと信じてきました。『ものづくり』に携わる者として、今もこの考えに変わりはありませんが、世界同時不況の時代にあつては、お客様と直接向き合い、自らをアピールすることも必要と考えて、**わが社の魅力発信支援**を利用させていただき、パンフレットの作成を行いました。」



**【創業者総合支援事業】**

独立創業に伴い、市内に工場を借りる際の家賃経費を助成。県の工業技術総合センターなどで設備を使用した場合にも利用できます。

**【関連倒産防止資金】**

小規模企業への金融支援策として、ほかに小口零細企業保証資金や経営安定資金など、市が利子の補給を行うメニューも各種用意。

**【わが社の魅力発信支援補助金】**

新規受注開拓事業のひとつ。ホームページの開設やリニューアル、パンフレットの作成などを助成します。

**古川製作所**

**勉強会への参加が仕事に直結するなど、支援が企業力アップのための足がかりに。**

代表取締役 古川明さん



「昨年10月から売り上げが落ち込みはじめ、今年になって仕事も減ってきただため、3月から金曜日を休業とし、3か月間、**雇用調整助成制度**で助成金の給付を受けました。経営的には助かりましたが、工場全体が同一ラインでまわっている大企業とは違い、中小では、つねに変則的な稼働が求められる状況ですから、システムに勤務態勢をすりあわせるのが大変でした。弊害としては、従業員のモチベーションを元に戻すのがむずかしいですね。通常勤務になったからといって、生産効率をすぐに100%まで回復できるかというところはいいきません。現段階では

制度が見直され、一時休を従業員の教育に当てるなど補償も改正されているようなので、上手に利用すればいいかもしれません。」

ありがたいのは、こういうのがあるよ」と、市が企業の立場で情報を発信してくれることです。実際、市からの提案で実ったものに、**経営革新計画**があります。市の支援策ではないのですが、実践的なアドバイスをいただき、承認を得ることができました。おかげでいい条件で融資などが受けられ、会社の進むべき方向も明確になりました。

仕事は人頼みというわけにはいきませ



古川製作所 古川 明さん

麺でござる 佐庵

おかげさまで開業3年目を迎えました。  
夢は岡谷の活性化をリードするような店に！

店主 横内克典さん



当課と連絡をとってくれました。商業観光課の対応もとても丁寧でわかりやすく、労せず申請ができました。その分、メニューの研究や仕入れなどに気を配ることができ、信州黄金シヤモや自家製野菜などへのこだわりも実現。これからは、ふるさとへの恩返しも含めて、岡谷のまちを元気にするような、地域の役に立つ店にしていきたいです。」



「19年6月にラーメン店を開店しました。岡谷で生まれ育ったので、やはり岡谷で店をやりたいという思いが強かったです。この大家さんは古くからの知り合いで、場所はずんわり決まりましたが、事務所兼倉庫として使われていた建物を飲食店にする改修費用は、うちにとっては相当な額でした。補助金のようなものがあればいいなと、漠然とテクノプラザに行って聞いてみたんです。中小小売等店舗活性化事業補助金の窓口は商業観光課だったので、何も知らずに訪ねたわたしに職員はとても親切で、すぐに担当課と連絡をとってくれました。商業観光課の対応もとても丁寧でわかりやすく、労せず申請ができました。その分、メニューの研究や仕入れなどに気を配ることができ、信州黄金シヤモや自家製野菜などへのこだわりも実現。これからは、ふるさとへの恩返しも含めて、岡谷のまちを元気にするような、地域の役に立つ店にしていきたいです。」

工業に関する問合せ

テクノプラザおかや

技術、人材（雇用）、情報、資金など、工業振興にかかわる情報を発信。相談がワンストップで受けられます。

今回の経済対策ではとくに、経営の安定化と倒産防止のため「緊急借換資金」も新設。地元金融機関や県信用保証協会などとの協力で、各種制度資金融資を充実させるとともに、技術研究や知財の有効活用にも力を入れ、総合的に支援を展開しています。

●開館時間

平日：午前9時～午後9時30分 土曜・日曜：午前9時～午後5時30分

テクノプラザに来場できない場合は、スタッフが訪問します。

☎21-7000 <http://www.tech-okaya.jp>



【中小小売等店舗活性化事業補助金】  
市内の空き店舗を商業施設などに利用する場合（既存店舗の改修も含む）に改修経費や賃借料の一部を補助します。  
■店舗を経営する人が、必ず工事前申請してください。

商業に関する問合せ ● 商業観光課（内線1452）



